

(第1号様式)

大分県L S I クラスタニッチトップ・ニューマーケット推進事業申請書

令和 年 月 日

大分県L S I クラスタ形成推進会議
会長 川越 洋規 殿

住 所 大分市高江西1丁目3461-10
名 称 L S I 株式会社
代表者の氏名 体表取締役 蔵洲 太郎 印
連絡先担当者 京成 推子
電話番号 097-596-7179
E-mail oita-lsi@columbus.or.jp

大分県L S I クラスタ形成推進会議のニッチトップ・ニューマーケット推進事業を実施したいので、大分県L S I クラスタニッチトップ・ニューマーケット推進事業実施要領第3条第1項の規定に基づき、下記の計画を申請します。

事業計画

1 概要

(1) 種別 (該当する事業に○を記載)

- 1. ニューマーケット進出事業
- 2. ニッチトップ創出事業

(2) 事業名

生産ラインの異常検出・停止を行うIoTキットの開発

(3) 事業費及び補助金申請額

○ニューマーケット進出事業

事業費(税別) 3,000千円 × 補助率2/3 = 補助額2,000千円

2 事業内容

(1) 申請事業の内容

| | | |
|---|-----|--------|
| (事業の実施背景(これまでの経緯)) | | |
| ○直近の分野別売上構成比を記載 | | |
| 事業分野 | 売上高 | 売上高構成比 |
| 半導体製造装置改造事業 | 1億円 | 20% |
| 自動機事業 | 4億円 | 80% |
| | | |
| | | |
| ○自社の市場におけるポジショニングを記載 | | |
| 当社は半導体製造装置改造などで培った、電子制御装置の開発・製造力をもとに、近年は金属や | | |

樹脂などの部品製造工程の一部の自動機を受託し、売上を伸ばしている。
九州では単独の自動機製造メーカーとして3番手に位置している。

(自社の強み)

○強みを定量的に記載

顧客のオーダーに迅速かつ低コストで対応できる、自動機の開発～製造までの生産一貫体制。
樹脂部品製造工程の自動機の設置期間を業界平均より25%程度短く、15%安く対応できることから、自動機の受注額は対前年比100%で成長している。また、自動機製造の中で培った、制御システムの開発力も取引先から高く評価されている。

(事業内容)

<現状>

○事業対象の現状を記載

現在、当社の自動機が多く使われている樹脂部品製造ラインは、新旧様々な自動機の混成のため、異常検出を一つのシステムで管理することができない。管理者は設備が稼働している間は、1時間に1回、15分程度、現場まで行って自動機の状態を定期的にチェックする必要がある。

<今回の事業で実現したい状態>

○事業により実現される状態を記載

管理者が現場に行かずに、自動機の状態をチェックすることができる。

<取り組む課題>

○実現したい状態と現状のギャップを記載

自動機の状態を遠隔モニタリングできるシステムの不足。

<事業の目標>

○今回の事業で達成する目標を記載

来年の2月までに管理者のデスクPCにて、工場内全自動機に表示される全ての数値をリアルタイムに表示及び記録できるシステムの開発。

<課題解決手段(事業内容)>

ラインの自動機の計器部分にカメラを設置し、数値部分を画像認識するソフトにより数値を自動的に読み取り自動機毎のデータを生成する。そのデータは、エクセルに表示させ、管理者がリアルタイムにチェックできるようにするシステムを開発する。

説明図

<効果（お客様にとっての嬉しさ）>

○定量的に記載

管理者の現場確認時間が1回あたり10分程度短縮されることにより、80分/日/人の省力化が図られる。それにより、対象としている工場では、現在6人いる管理者を5人とすることができる。

<スケジュール>

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 事業開始 | | ○ | | | | | | | | | | |
| 仕様検討 | | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | |
| 試作機製作 | | | | | | ○ | ○ | | | | | |
| 評価 | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | | |
| 事業完了 | | | | | | | | | | | ○ | |

(ビジネスモデルと事業化目標)

○今回の試作を事業化した場合のビジネスモデルを記載

○1～5年後の売上目標等を記載

○ニッチトップ創出事業の場合はマーケットシェアも記載

カメラとソフトのセットを300万円程度で販売。主要顧客は当社自動機の購入先100社。

(千円)

| 項目 | 2024年 | 2025年 | 2026年 | 2027年 | 2028年 |
|---------|-----------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 売上(増加分) | 3,000(1台) | 30,300(10台+維持費) | 39,300(12台+維持費) | 42,900(12台+維持費) | 46,500(12台+維持費) |
| 収益(増加分) | 0 | 3,300 | 6,900 | 10,500 | 14,100 |
| シェア | | | | | |

○算出根拠を記載

・システム導入費3,000千円、ソフト更新費300千円/年で販売

(事業が有する先進性)

○事業の先進性の類型(※事業の対象となる類型全てに丸印を付ける)

- ① 開発又は生産する商品の先進性
- 2 開発又は提供する役務の先進性
- 3 商品の生産又は販売の方式の先進性
- 4 役務の提供の方式の先進性

○事業の先進性に関する内容及び同業他社が存在する場合には同業他社との相違点

IOT導入による生産性向上は昨今のトレンドであり、当社以外にも大手から中小まで多くの事業者が類似商品を販売している。しかし、多くの商品が中小企業にとって高額で汎用性の低いため、導入が進んでいない。

当社の強みは、開発から生産までの生産一貫体制であり、これまで多くの自動機を導入してきた実績から、顧客のライン構成情報も保有しており、商品仕様を顧客の要望に応じて最適化することにより、大手の1/5程度の低コストで導入できる。中小企業にとって、当社の価格設定であれば、採用が進むものとする。

また、測定データを当社のデータサーバーに蓄積していくことにより将来的にはビッグデータに基づくコンサルティングも視野に入れ事業展開を行う。

(2) 事業を共同して行おうとする者がある場合は、当該事業者の名称及び住所並びにその代表者の氏名並びに当該事業者の役割

| | ①名称、②住所、③代表者名 | ④役割 |
|---|-----------------------------|----------------------------------|
| 1 | 別府樹脂株式会社 別府市北浜 別府 他和子 | 樹脂部品製造ラインを用いてIoTキットの性能・操作性・信頼性評価 |
| 2 | | |

(3) 事業を行う主な実施場所

LSI株式会社 大分事業所 大分市高江西1丁目3461-10

(4) 事業の実施時期

2024年6月16日 ~ 2025年3月8日

(5) 事業の実施体制

事業開発部 主任2名で構成するチームを作り、部長直轄体制で管理する。

(6) 補助金の交付を受けた実績及び併願検討状況（過去5年間）

○補助金の交付を受けた実績（この事業に関連して過去に交付を受けた実績）

1. 有
2. 無

○他の補助金の検討状況（この事業に関連して申請中又は申請予定）

1. 有
2. 無

○補助金名

・LSIクラスター研究開発補助（R4年度）

3 添付書類

□直近の決算書類（損益計算書・貸借対照表）

4 申請額内訳

(単位：円)

| 経費区分 | 補助事業に要する経費 | 補助対象経費 (消費税抜き) | 積算内訳 | 備考 |
|----------------|------------|-------------------|------|----|
| 謝金 | | | | |
| 旅費 | | | | |
| 原材料費 | 1,100,000 | 1,000,000 | | |
| 構築物費 | | | | |
| 機械装置・ 工具器具費 | | | | |
| 外注加工費 | 2,200,000 | 2,000,000 | | |
| 委託費 | | | | |
| 共同研究費 | | | | |
| 技術指導 受入費 | | | | |
| その他の 経費 | | | | |
| 合計 | 3,300,000 | 3,000,000 | | |

注) 委託する場合には、備考欄に委託先名を記名すること。
補助対象経費は消費税抜きで記載のこと。ただし大学等との共同研究費については、消費税を含むこともあるので事務局へ確認のうえ記入する。

5 収支予算

収入の部

(単位：円)

| 区 分 | 予算額 | 備 考 |
|------|-----------|-----|
| 補助金 | 2,000,000 | |
| 自己資金 | 1,300,000 | |
| 合 計 | 3,300,000 | |

支出の部

(単位：円)

| 区 分 | 予算額 | 備 考 |
|-------|-----------|-----|
| 原材料費 | 1,100,000 | |
| 外注加工費 | 2,200,000 | |
| 合 計 | 3,300,000 | |

第2号様式

令和 年度大分県L S Iクラスターニッチトップ・ニューマーケット推進事業
審査結果通知書

L S I 第 号
令和 年 月 日

殿

大分県L S Iクラスター形成推進会議

会長 川越 洋規 印

令和 年 月 日付けで認定申請のあった令和 年度大分県L S Iクラスターニッチトップ・ニューマーケット推進事業について、大分県L S Iクラスターニッチトップ・ニューマーケット推進事業実施要領第3条第2項の規定により下記のとおり審査結果を通知します。

記

- 1 会員名
- 2 事業名
- 3 審査結果：採択 不採択 再審査（該当しないものを削除する）
 - ・補助金額（内示額） 円（採択以外の場合は削除する）
 - ・大分県L S Iクラスターニッチトップ・ニューマーケット推進事業費補助金交付申請書を令和 年 月 日までに提出してください。（同上）
- 4 審査結果の理由（採択の場合は「審査員コメント」と書き換える）